

赤外線を熱エネルギーに変換する エコロジー発熱素材「ソーラタッチ」

1. 新繊維名：ソーラタッチ

2. 開発経緯

地球温暖化が進む中、炭酸ガスの排出規制が叫ばれています。京都議定書では90年比CO₂排出量の目標としてマイナス6%と定められています。私たちが環境問題を考える場合、最も身近に出来るのが家庭や職場での省エネです。例えば、冷房や暖房の温度を通常より1~2°C変化させるだけでも、CO₂の削減に貢献できます。今回オーミケンシ（株）は、環境を意識した新しい素材として、自然のエネルギーで暖かくなる発熱素材「ソーラタッチ」を開発しました。

3. 新繊維の機能性

ソーラタッチは、太陽や人体から放射される赤外線を微粒子金属酸化物が吸収し、この赤外線を熱エネルギーに変えることで、自らが発熱する繊維です。

繊維が発熱し、その熱を衣服内に伝達することで、身体を温める機能があります。弊社における屋外での実験では、コットンに比較して、ソーラタッチの温度上昇が高いことが確認されました。

更に、屋内用としてソーラタッチSも用意いたしました。

ソーラタッチSは屋内においても、コットンと比較して高い温度上昇が認められます。

4. 新繊維の特徴

- 1) 地上に放射される赤外線を広領域で吸収するため、赤外線の吸収効果が高い。
- 2) 発熱量が高いので保温性が持続します。
- 3) 練り込みのため、高い洗濯耐久性と半永久的な機能性があります。
- 4) 練り込みのため、レーヨンの風合いを損ないません。
- 5) 混紡など他の素材と容易に混ぜることができます。

5. 今後の展開

発熱素材として、インナー、スポーツ、アウター、雑貨などの用途に展開予定です。

6. 予想売上量と金額

初年度売上見込みは1億円、3年後に10億円を目指します。

以上

詳細情報はこちら

この件に関するお問い合わせ先

大阪市中央区瓦町2-5-14

オーミケンシ株式会社 生産・技術開発事業部

担当 徳田

電話：06-6205-7160 FAX：06-6205-7309